

川上ダム通信

2013
3
月号



Vol. 89
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> [✉ somu1@lily.ocn.ne.jp](mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp)

今年度も大好評！！「水の調査隊」

川上ダム建設所では、建設現場やダム周辺の水辺環境を実際に目で見て体験していただくを通じ、事業への理解をより深めていただくための取り組みとして、平成20年度から伊賀市立青山小学校の児童のみなさんに「水の調査隊」と題した出前講座・施設見学会を開催しています。さらに、平成23年度からは伊賀市内の他の小学校のみなさんにも「水の調査隊」にご参加いただいています。

今年度も3校184名の児童のみなさんにご参加いただきました。

○青山小学校 4年生 84名

9月26日（水）出前講座

9月27日（木）施設見学会

○大山田小学校 3年生 46名

10月24日（水）出前講座

○府中小学校 1年生 26名

10月26日（金）出前講座・施設見学会

○府中小学校 2年生 28名

10月29日（月）出前講座・施設見学会



オオサンショウウオを熱心に観察

出前講座では、ダムの役割や環境保全の取り組み、

水の大切さについて学んでいただきました。環境保全に関しては、川上ダム建設所で保護しているオオサンショウウオを水槽に入れて教室に持ち込み、当建設所職員からオオサンショウウオの生態や保全の取り組みについてご説明しました。近くの川に生息しながら、夜行性のため日中なかなか見かけるチャンスが少ないオオサンショウウオを間近で熱心に観察していただきました。



オオサンショウウオの観察や
仮排水路トンネル内の見学が好評でした
(参加者からのお礼の手紙)

施設見学会では、普段見ることのない仮排水路トンネル内を探検していただき、この大きいトンネルに水が流れることを聞くとみなさんととても驚いた様子で、トンネル内に歓声が響きわたりました。

この「水の調査隊」を通じて児童のみなさんからは「大変おもしろかった」「勉強になった」と好評をいただきました。

伊賀市の将来を担う児童のみなさんに、こうした「水の調査隊」の体験を通じて、地域の安全・安心を支えるダムや自然環境について興味を持っていただき、さらに学んでいただくきっかけになれば幸いです。

【総務課 金子吉彦】

青山美杉線の工事進捗状況

付替県道青美線貯水池横断橋上流部整備工事

平成24年5月より進めてまいりました上流部整備工事は、平成25年1月下旬に完成しました。

この工事は、現在施工中の貯水池横断橋と北野トンネルとを繋ぐ、延長46m、幅員7mの道路整備工事です。

施工場所がかなり急峻な場所であったため、難しい工事でしたが、事故もなく無事に完成することが出来ました。これも地域の皆様の工事へのご理解ご協力と工事関係者のご尽力があったことだと感謝しています。本当にありがとうございました。

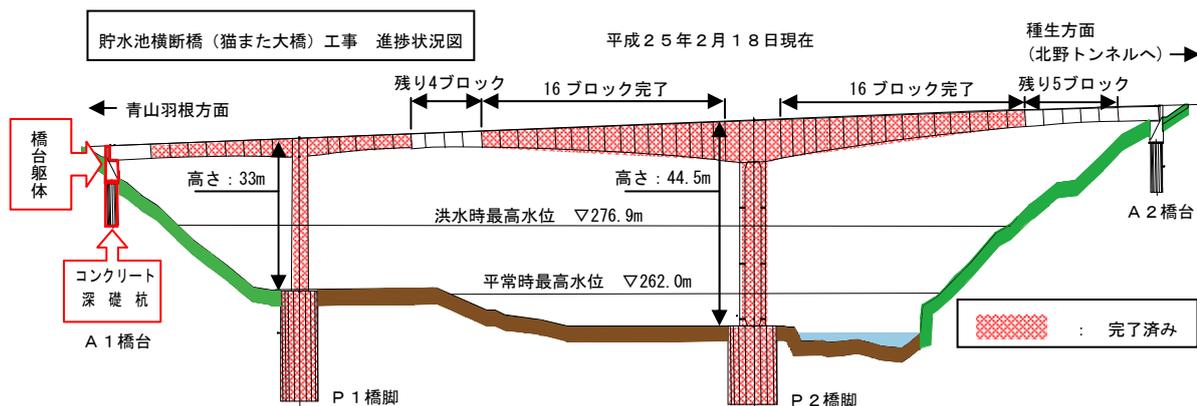


完成した様子
(奥に見えるのが貯水池横断橋)

付替県道青美線貯水池横断橋工事

貯水池横断橋のP2橋脚から伸びる橋桁は、現在、16ブロックまでの施工を完了し、17ブロック目の施工にとりかかっています。残すところあと数ブロックとなりました。

A1橋台は、2本目のコンクリート深礎杭の打設まで完了しており、引き続き、橋台躯体工を施工する予定です。A2橋台については、2月中旬から掘削を開始しており、3月上旬より深礎杭の施工を実施する予定です。



A1橋台 深礎杭打設後の状況



A2橋台 掘削状況

安全運転を再認識

川上ダム建設所では1月23日(水)、29日(火)に三重県交通安全研修センターにおいて、交通安全研修を受講し、屋内外の施設で様々な体験を行うことによって、安全運転の意識を高めました。

三重県では2月24日時点で既に9,578件の交通事故が発生し、そのうち1,470件が人身事故となっています*。

当建設所職員も通勤や現場での調査、監督等に車を用いることが多いことから、毎年本講習を受講しています。

屋内ではシミュレータによる危険予測の確認を行い、屋外



シミュレータで危険予測の大切さを改めて実感

ではシートベル

トを締めた正しい運転姿勢の指導を受け、わだちを想定した路面の走行、冬道を想定した滑りやすい路面での急ブレーキを体験しました。

講師からは「夜間に車を運転する際はハイビームによる早めの前方確認が必要であり、歩行者等の場合は反射板の携帯が交通事故防止に非常に効果的である」との指導がありました。今後も、職員一同安全運転に努めてまいります。

※三重県警察HP参照：<http://www.police.pref.mie.jp/>

【総務課 菊地滋男】



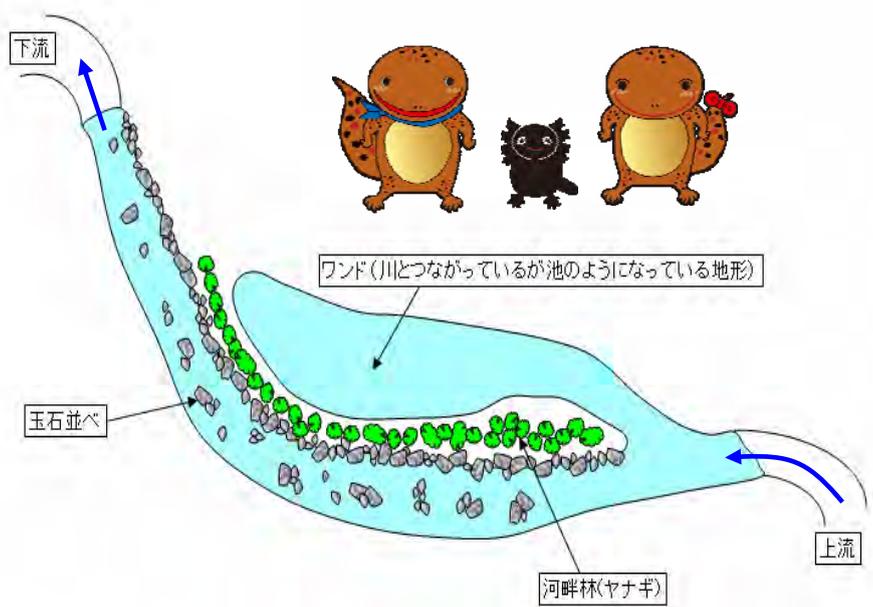
滑りやすい路面での急ブレーキを体験

環境用語集 #10 …ビオトープ…

ビオトープ (独: Biotop) 【バイオトープ (英: Biotope)】

環境用語集第10回目は、ビオトープについて説明します。ビオトープとは、野生の生き物がいる環境(場所)を示す言葉です。日本語に訳す場合は生物空間、生物生息空間とされます。または、生き物が住みやすいように環境(場所)を改変することを指すこともあります。語源はギリシア語からの造語で(bio(命) + topos(場所))とされています。

子供が自然と接する場にもなることから、学校や公園の一角に造られたりもしています。



ビオトープのイメージ

【環境課 笹原智弘】

労働安全の専門家と工事現場をパトロールしました！



工事現場では安全第一。労働災害は決して発生させるはなりません。このため川上ダム建設所では、職員と受注者による工事現場の安全パトロールを毎月実施しています。そして1月24日（木）の安全パトロールでは、特別に伊賀労働基準監督署から署長及び労働基準監督官をお招きし、監督署と合同で安全パトロールを実施しました。

監督署のお二人には、労働安全衛生の専門家ならではの厳しい目で、工事現場のすみずみまでチェックしていただきました。パトロール後には講評をいただき、より一層の安全向上につながるとても有意義な機会となりました。

今後も、川上ダム建設所では工事現場の安全に常に目を配り、安全第一、無事故・無災害で事業を進めてまいります。

【工務課 鶴牧美鈴】



工事現場をくまなくパトロールしている様子



青蓮寺湖駅伝大会開催！ダム湖を駆け抜けました！



完走し、笑顔を見せる職員

2月24日（日）に、青蓮寺ダム（名張市）において第27回名張青蓮寺湖駅伝競走大会が開催されました。

川上ダム建設所からも走りに自信のある？職員を集めてチームを結成し、本大会に出場しました。

チーム一丸となり懸命に走りましたが、結果は46チーム中38位（タイム：1時間37分4秒）とふるいませんでした。来年こそは上位に進出したいと思います。皆様も、来年は参加してみたいはいかがでしょうか。

【第二用地課 松高遵】

旬なお知らせ

近鉄の新しい特急「しまかぜ」デビュー！

3月21日（木）に近鉄の新しい特急「しまかぜ」がデビューします。「しまかぜ」は大阪難波駅・近鉄名古屋駅と賢島駅間を結びます。車両は、伊勢志摩の晴れやかな空をイメージして、ブルーを基調にカラーリングがされています。また「しまかぜ」という名前ですが、志摩に吹く風の爽やかさをイメージして付けられたようです。特急券の予約販売は2月21日（木）から始まっています。早く乗ってみたいですね。

詳しくは近畿日本鉄道のHPをご覧ください。

URL : <http://www.kintetsu.co.jp/>

○川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

又は「川上ダム通信」で検索

○ご意見・ご感想はこちらへ somu1@lily.ocn.ne.jp

編集後記

花粉症の時期になってまいりました。今年では例年並か、それ以上の花粉が飛散する見込みです。花粉症の重症化を防ぐには、症状が出始めたら薬を飲み、症状が軽い日も薬を飲み続けることだそうです。また、疲労や睡眠不足、飲酒も症状を悪化させる原因になるそうです。対策をきっちりと行い、無事にこの春をのりこえたいものです。

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	大友（総務課長）	田中（工務課長）
編集	金山（調査設計課）	
記者	湯本（総務課）	松高（第二用地課）
	本田（調査設計課）	笹原（環境課）
	廣瀬（工事課）	

